

高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する「文献調査」への  
寿都町からの応募および神恵内村の経済産業大臣申入受諾について

2020年10月9日  
電気事業連合会  
会長 池辺和弘

本日、寿都町から原子力発電環境整備機構（NUMO）に対し、高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する文献調査への応募が行われるとともに、神恵内村が経済産業大臣からの文献調査に関する申入れを受諾することを表明された。

寿都町および神恵内村において、最終処分事業にご関心をお寄せいただき、このたび文献調査を進めるご決断をいただいたことは大変ありがたいと考えており、関係者の皆さまに対して、心より敬意を表したい。

私どもとしても、高レベル放射性廃棄物の発生者としての基本的な責任を有する立場から、引き続き、国やNUMOと連携しながら地域の皆さまとの対話活動などを継続することで、処分事業にご理解を深めていただき、少しでもご関心を寄せていただけるよう取り組んでいく。

以上